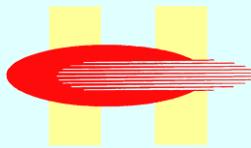




2011-2012年度



# 千葉東ロータリークラブ 週報



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

会長 穴倉 壽夫  
幹事 加藤 隆

国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジー  
2790 地区ガバナー 山田 修平  
第3分区Aガバナー補佐 高山 正孝

## 第928回例会 2012.2.20 (月)

### 本日のお客様

船橋西ロータリークラブ	相川 信善 様
大功自動車	王 成英 様
大功自動車	劉 君 玲 様

### 会長挨拶



#### 穴倉 壽夫 会長

先週のI・Mにご出席された皆さんには大変ご苦労様でした。特に、ガバナー補佐の高山さん、そして幹事の加藤さんには多大なご協力を頂き、無事終了できたことに厚くお礼申し上げます。13クラブが一堂に会するというのは年に一回のことです。このような機会をとらえて他クラブの方と親交を温めるということが何よりも必要ではないかと思えます。ただ、出席が昼間の会合ということもあってか、当クラブは通常の例会に比べると少

なかったことが残念でありました。今日出席されている方に申し訳ありませんが、できるだけクラブの行事や例会には出席していただけるようお願いいたします。

今日の一口メモです。

今日も「ロータリー通解」(1923年にまとめたもの)のうち綱領についてお話しします。

- 1 あらゆる正義の価値を認め、その職業を通じて社会に奉仕する機会を与えられたものとして、各会員の職業の品位を高めること。
- 2 事業と専門職務の職業倫理を高めること。
- 3 アイデアを生かして企業経営を改善して、各会員の實力を増大させること。
- 4 友人や広く社会全体に奉仕しようという、各会員の夢が実現するように励ますこと。
- 5 奉仕の機会と成功への手段として、学問的な知識を高めること。
- 6 地域社会の公共の福祉に関する各会員の関心を高め、公共的、社会的、商業的、工業的開発についてほかの人々と協力すること。

これが、綱領として掲載されているものです。現在の綱領とはだいぶ異なっていることに注意して頂きたいと思えます。

幹 事 報 告

## 加藤 隆 幹事



### ◆ 千葉緑RC青少年育成チャリティゴルフコンペの案内

日時：平成24年5月24日(月)

1組目8：00スタート

場所：真名カントリークラブ

会費：5,000円/人

プレー費：約12,700円

(キャディ、カート、昼食、1ドリンク)

各クラブ1組以上お願いいたします。

## 会 員 卓 話

# 年末アジア漫遊記

## その1

吉田朋令会員



私は昨年末12月26日から30日まで、ベトナムのタインホアとハノイに行っていました。

今回の目的は、私のお客様で、山形で縫製工場を経営している御法人がありまして、5年前にタインホアに工場を建設いたしました

女性用のブラックフォーマルを生産しておりまして、昨年6月には第二工場を増設し現在約500名の従業員を雇用いたしております。

今回社長が年末年始ベトナム工場の留守番役として行かれるとのことで、前々よりベトナムにはビジネス的に興味がありましたので、伺わせていただきました。

タインホアの町はハノイから南に約150KMの所にあり、車で約4時間かかります。ベトナム戦争後ベトナムの人口は約1.5倍になり、約1億人が生活しております。とにかく活気があり、交通手段は自転車と原付バイクであり、その数の多さは圧巻でした。

ベトナムの気候は北の方は温暖で、タインホアやハノイは、日本での11月ごろ気候でとても過ごしやすかったです。

ベトナムは親日で、とても人懐っこい性格で私には新鮮でした。

日本の昭和30年から40年ごろイメージですが、お配りしました資料にもアジア、ベトナムについて記されておりますが近年急速に発展しつつあり、中国やタイに代わり日本にとりまして、特に製造業の分野におきましては重要な位置にあり、今後も発展が見込まれます。

今回は北ベトナムでしたが、次回はホーチミン等南ベトナムを訪れてみたいと思います。

穴倉会長

その2



年末にマカオに行ってまいりました。マカオというのは非常に小さな島が二つ橋でつながっております。その橋の1本が公共交通だけが通れる橋があります。したがってタクシーやバスを利用すると非常に安く行けるということになります。

現在はポルトガルから中国へ返還されて中国の特別行政区になっており、香港から近いせいか私も4回目になりますが、最初は香港から1時間ぐらい掛けてフェリーで行ったものです。今は成田から週1便直行便があり便利になりましたが、週1便ということもあってツアー客は香港経由で入るようです。今年の8月以降はマカオエアが毎日行くようで便利になるみたいです。

マカオはアメリカのラスベガスと並んでギャンブルの町に変貌しております。数年前はホテル等の建設ラッシュでしたが、昨年の暮れの行った時はそれも落ち着き綺麗になっておりました。大きなホテルがたくさん出来、一つのホテルでカジノから全てのものがそろって、いわゆる囲い込みと

いう状態になっております。

客は中国からの団体が年々増えてすごい数になって、着るものもあでやかになり中国の成長を肌で感じます。それと同時に地元の人たちの様子も変わってきて、カジノなどの収入で返還されてから10数年でマカオ自体も急激に伸びているようです。

マカオ全体が世界遺産に指定されていて、それなりに観るところはあるようですが、それとは別に報道によるとマカオのカジノの売り上げが昨年2兆6000億円になったということです。その上得意客のほとんどは中国人だそうです。では、犯罪はと言うとラスベガスと同じようにカジノ自体がお互いに努力しているようです。皆さんもギャンブルに限らず、観光という面からも是非行ってみたいいかがでしょうか。

(^\_^) B O X



高山 会員 IM無事終える事が出来ました。ありがとうございました。



飯田 会員 .....

山本 会員 シンガポール\$換金致しました。計 11,000円

累計 ¥993,200円